

横浜市立不動丸小学校 学校だより

令和6年2月29日



たいじゅ もり
大樹の森

3月号



<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/fudomaru/>



「ほんもの」の自分を大切に

校長 山下 謙一郎

いよいよ3月となりました。令和5年度も最後の1か月です。不動丸小学校の子どもたち一人ひとりにとって大きな節目の時を迎えようとしています。残り少ない今の学年です。何となく過ごすのではなく、目標や目的をもちながら過ごしていく事が大切となります。今の自分をしっかり見つめ直し、ラストスパートを切りたいところです。

さて、こんなお話を聞いたことがあります。

「ほんもの」と「にせもの」は見えないところの在り方で決まる。
それだけに「にせもの」に限って見えるところばかりを気にし、飾り、
ますます「ほんとうのにせもの」になっていく。

見えないところで、ごまかしたりだましたりすることはできるかもしれませんが。その場はうまく乗り切ってしまうこともあるでしょう。しかし、それがいつしか当たり前のようになり、どんどん本当の自分とはちがう姿をみんなに見せていかなければ、生きていけなくなっていく自分になるかもしれません。

また、自分自身の心は絶対にごまかしたり、だましたりすることはできません。何が「ほんもの」で何が「にせもの」かは、自分自身が一番よく知っているからです。「ほんもの」であること、「ほんもの」を見せることは時として苦しいこともあるでしょう。でも、自分が「ほんもの」を見せられることは、自分自身の誇りになると私は思います。オリンピックで金メダルをとる、テストなどで優秀な成績を収めることも立派なことですが、この「ほんもの」であろうとする気持ちをもてることもそれらに負けない立派な姿だと思えます。私の知っている不動丸小の子どもたちは、みんな「ほんもの」になれる力の持ち主です。

最後になりましたが、不動丸小学校の保護者の皆様、また地域の皆様におかれましては、令和5年度も学校教育に御理解と御協力をいただきましたこと、衷心より感謝申し上げます。どうか令和6年度も、これまで同様変わらぬ御支援をよろしくお願いいたします。